



北里大学同窓会 栃木県支部

ニュースNo.25 (2017年12月1日)
新年会2018、定期総会・講演会のお知らせ
Relay for Life JAPAN 2017 in Tochigi、
福島競馬場見学ツアー 報告



栃木県支部ホームページQRコードです。
スマートフォンでのアクセスに利用下さい。

北里大学同窓会栃木県支部新年会

開催日：2018年2月17日（土）夕方～夜

済生会宇都宮病院 塚原 訓子
栃木県支部の新年会を2018年2月17日（土曜日）
午後6時半から開催します。

会場は宇都宮駅前通りのチサンホテル。2階の広い部
屋を確保しました。料理もおいしいものを用意していま
す。

日時：2018年2月17日（土）午後6時半より
参加費：5,000円（当日会場で）

若い参加者には今回も割引する予定ですので奮って
ご参加下さい。

なお、ゲームの景品を寄付して下さる方は当日お持
ちください。



〒321-0964 栃木県宇都宮市駅前通り 3-2-3

TEL:028-634-4311 FAX:028-634-4799

寒さ厳しき時期ですが世話人一同、心のほっこりする
新年会にしたいと思います。食べて、飲んでこれからも
支部会をみんなで一緒に盛り上げていきましょう。

参加の有無は、同封のハガキで1月20日までにお
知らせ下さい。

北里大学同窓会栃木県支部 第五回定期総会・講演会・懇親会開催

北里大学同窓会栃木県支部 支部長 滝 龍雄

北里大学同窓会栃木県支部の第5回定期総会を

2018年7月7日（土）

に開催します。議題、時間、会場等の詳細は、次回の支
部会ニュースでお知らせします。

総会后、講演会を行います。

講師：北里大学名誉教授（元薬学部微生物学教授）
檀原 宏文 先生（北里柴三郎記念会会員）

演題：「小国から熊本へ、
北里柴三郎が歩いた道をたどる旅」



（北里柴三郎記念会の会合で講演中です。）

檀原先生は北里柴三郎の研究家としても良く知られ、
3年前には「ラウソンレポート」という本を上梓されま
した。これは、香港でペストが流行した時に、政府から
派遣された北里柴三郎がペスト菌を発見した時、その発
見に協力を惜しかなかった当時のイギリス領香港政庁
の医官ラウソン（James Alfred Lowson）が本国（イギ
リス）に行った報告を中心にまとめたものです。

今回のご講演では、先生自身が、北里柴三郎の故郷・
熊本県小国郷から熊本市まで、柴三郎の日記等に記載さ
れている古い徒歩コースを辿った時の興味深いお話で
す。ご期待ください。

紅緑会栃木県支部総会のお知らせ

齋藤けさよ

3月に紅緑会（獣医学部同窓会）栃木県支部の総会を開催します。総会では獣医学部2期生の渡辺寛さんによる講演「滅菌 獣医学への応用：より安全な滅菌へ」があります。

獣医学関係以外の方も是非参加して下さい。日程・会場等はメールでお知らせします。情報を希望される方は新年会の返信はがきにアドレスを記入して下さい。

公開講演会2019 開催決定

支部長 滝 龍雄

2019年に開催する公開講演会の講師が決定しました。皆さまも良くご存知の、猫の医療のエキスパート、東京の下町（江東区森下）の「猫専門病院 東京猫医療センター」服部幸(ゆき)院長です。

服部先生は北里大学獣医学部32期生として2003年に卒業後、アメリカ留学などを経て2012年に上記医療センターを開院しました。



(東京猫医療センターの外観と診察中の服部先生)

服部先生は10年以上猫の臨床に携わり、数多くの啓蒙書を出版すると共に、「情熱大陸」などのテレビ出演も多数です。



(服部先生の著書です)

講演会の詳細が決まりましたらお知らせします。

Relay for Life JAPAN 2017 in Tochigi に参加しました。

滝 龍雄

今年のRFL2017は台風が近づき天気不安の中9月16・17日予定通り開催されました。3連休の前2日の開催とあって全体の参加者は例年より少なかったようですが、栃木県支部チームとしては延べ約20名がリレー・ウォークに参加しました。



(ウォーキング中のリーダー、サブリーダーです)

今年も「メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン栃木県支部」のテントの隣の栃木県支部のテントには、他のチームで参加している北里の卒業生など、思い掛けない北里OB・OGが多く訪ねて来てくれ、友達の輪を広げました。

閉会の時には風雨が強くなり、早々に会場を後にせざるを得ませんでした。色々と思い出深いリレー・フォー・ライフでした。

皆さんも、一緒に歩きませんか!! 来年は、栃木県支部のTシャツを作製して、皆で着ようと思っています。

私とリレー・フォー・ライフ

福田 哲夫

2012年9月に「リレー・フォー・ライフとちぎ」が初開催され、北里大学同窓会栃木県支部は当初より参加しており、今年で6回目となる。敬老の日（第3月曜）の前の土曜の昼から日曜の昼まで24時間開催される。私は土曜の午後の診療が終わってから参加している。私のミッションと言えば・・・。

2012年から2014年までは宇都宮城址公園で開催されていた。腹ごしらえは何処にしましょうか?・・・ということで、お店選びが私のミッション。歩いてける所、友人に聞けば有名な焼き鳥屋さんもあるが、より近い所にあるイタリアンに決定! 10数名が参加し、飲んで食べて談笑し、楽しいひと時を過ごすことができた。

2015年から壬生町の総合公園陸上競技場に会場が移された。はてさて、お店選びをどうしよう。当然車での移動となる。参加できる人は少なくなって、滝支部長、岸副支部長、そして私と、単なる酒好きの3人が残った。3人くらいなら当日でもなんとかかなるだろうと思いきや、入ったお店がイマイチだったりして……。今年はWebでそれなりに検索しておいた店に向かったが、平均点といったところでしょうか？

ビールで喉を潤し、酒の肴をつまみながら、焼酎で酔いが回ってくると会話が弾んでくる。

ワングルOBでもある滝さん、岸さんが最近登った山の話。健康的で羨ましい限り。私も何か体を動かさないといけないと思う。はたまた、岸さんの話がすごい！好きな馬の絵を描いて、市民大学講座では郷土の歴史を学び、合唱団では美声？を披露しているとか……。

そして、福田の愚痴が炸裂。今年3月から宇都宮市では病児保育室での病児の送迎を始めた。厚労省が勧める事業でもあるが、全国では多くの小児科医が反対し、ほとんどの自治体が積極的には動いていない。保育園で体調不良になった子どもを、病児保育室の看護師が送迎する。どこの誰かもわからない人が迎いに行き、どこに行くかもわからない。子どもの人権を無視し、子ども目線でない、病児の宅配みたいなことはやってはいけないというのが、多くの小児科医の意見である。

保育園の園長先生も、保護者が迎いに来るまではお預かりすると反対しているとか。私も反対を貫いたが、蓋を開ければうちを除く4施設が送迎の看板を掲げた。当然である。送迎の依頼がなくても一施設年間540万円の補助金が懐に入るわけだ。送迎費用は別に行政持ち。千葉市では病児保育室の施設長が反対し、行政も見送ったそうだ。宇都宮市では8月までの6ヶ月で1人の利用しかいないそうである……。待機児童の解消が先決だろうし、任意ワクチンの助成もして欲しいし、優先順位ちゅうもんがあるだろうに。

またまた「放課後等デイサービス」なんちゅうのがある。学童保育では預かれない障害児を預かるサービスである。障害児を持つ母親の話では、単なる居場所を提供しているだけで、多額の税金が使われている（Webで検索すると儲かりそうなサービス）。より有効な支援にお金を使って欲しいと……。耳障りの良いサービスを提供し国民受けを狙っているが、質は二の次で、そこに群がる業者が潤ってるだけで税金垂れ流し。景気が良くなればなんでもごじやれ！……などなど……。

こんな愚痴を、大先輩にぶつけて今年はお開き。

ところで福田、歩いてんの？5~6周は歩いてるかな？もちろん来年もあります。ちょっと歩いて、飲みましよう。平均年齢を下げてください！



獣紅緑会栃木支部支部長 兼丸 卓美

今年で4回目となる北里大学同窓会栃木県支部と紅緑会（獣医学部同窓会）栃木県支部合同による福島競馬観戦ツアーを11月11日（土）に実施しましたので、その概要をお知らせします。

今回は同窓会及び紅緑会会員17名とその会員のご家族・ご友人を含め総勢36名の参加となりました。定刻の8時30分に宇都宮を出発し、途中西那須で県北の皆さんと合流し、一路東北道を福島競馬場へと向かいました。当日は寒波到来の影響で時折小雨模様のやや肌寒い不安定な天候でしたが、北上するにつれて周囲の山並みの紅葉をバックにバス前面には虹の光景も見られました。車中では、今回も初心者の参加もあり「カンタン！馬券購入ガイド」を用いて競馬に関する若干の解説をした後に、参加者相互の親睦の一助になればと自己紹介をお願いしました。西那須を出発する際に、二本松-西福島間が事故渋滞とのニュースがあり、到着が遅れるのではないかと心配し、トイレ休憩なしで進行しましたが幸いにも事故渋滞は解消されており、到着予定時刻より15分早く競馬場に無事到着できました。丁度午前中のレースが終わり、お昼休みの時間で、ゴール前の特別ステージでは「お笑い芸人の永野さんによるお笑いライブ」が行われていました。

一行は受付を済ませ来賓室にて、リピーターの方を中心に午後のレース検討に向う人、まずは昼食をとレストランに向う人、弁当調達に向う人など、各人それぞれが慌ただしく思い思いに過ごし、午後のレースがスタートする頃には、初心者の方も馬券片手にレース観戦が始まりました。レースが進むにつれ、来賓室での馬券検討から下見所での出走前の馬の気配のチェック、さらにゴール前のデットヒートの感触を味わうために芝コース外側の柵から観戦する方など思い思いの観戦を味わう方も増えてきました。中には、馬場内でのイベントに行こうと出かけ雨に見舞われ残念ながら行けなかった方もいらっしゃいました。今年は複数の馬の着順を当てる馬連や枠連と言ったやや配当金の高い種類の馬券に挑戦し、的中される方が多かったようです。更にベテランのファンの中には多頭数を対象としたボックス買いやながし馬券に挑戦する方も見受けられました。レース後はあちらこちらでの中馬券への歓声も聞かれ、高額配当への期待はピークに達しておりました。何れにしましてもレース後は参加者が一体となって喜びを分かち合い、当該レースを的中できなかった方も、次こそは的中を夢見て挑戦、この緊張感と歓喜が満足感を与えてくれるのかも知れません。下見所でのゆったりとした歩様からレー

スに向って次第に気合が入りしっかりとした歩様に変わるサラブレッドの魅力と、人馬一体となったゴールでのハナ差勝負が一寸のスリルとして、レースごとに新鮮なドラマの展開が初めてのファンの方にも満足いただけたのかと思いました。



(来賓室で競馬を楽しみ、最後に満足です。)

当日の競馬はメイン及び最終レースは比較的平穏なレース展開でしたが、その他のレースはやや波乱含みのレースが多かったようです。特に連からみの複数の馬を対象とした馬券は的中が難しかったと思います。

最終レース終了時には、本降りの雨となりましたが4時30分に競馬場を出発し、西那須経由で7時30分に無事宇都宮に到着しました。

参加された皆さんには、ドレスコードや飲食物の持ち込みのご遠慮等ご不便の中での観戦となりましたが、皆様のご理解とご協力によりスムーズに進めることが出来、世話役と致しまして感謝しております。

この様な活動を通じて、同窓会会員の同窓会行事への積極的な参加の増加に繋がり、竹林の地下茎のように成長することを期待しております。

福島競馬ツアーに寄せて

27V 鈴木育美

先日、紅緑会栃木支部と北里大学同窓会栃木県支部が合同で主催する福島競馬ツアーが開催され、参加させていただきました。

生まれは岐阜の私が栃木に来て19年たち、その間なかなか支部の活動には参加できずにいました。でも、今年で4回目を迎えたこの競馬ツアーに私は初回からフル参加させてもらっています。

私同様皆勤賞の息子(5歳)も楽しみにしていて、「お馬さん見に行く!遊ぶ!」と指折り数えて待つ始末。福島競馬場は1997年にリニューアルされたということで非常にきれいに整備され子供の遊び場も充実しています。馬場内の公園遊具で遊んでいる家族は、親が馬券購入ついでにというパターンがほとんどのようでしたが、中には子供を遊ばせる目的がメインで余裕があれば馬券でもという様子の家族も見えました。ギャンブルの印象がぬぐえない競馬のハードルを下げ門戸を広げようと競馬場もいろいろ努力してるんだな、などと穿ったことを考えながらも楽しく過ごさせていただきました。

当日は雨が吹き付けたり晴れたり荒れ模様の天気、公園ではあまり遊ばせませんでした。パドックに馬を見に行ったり買い食いしたり屋根のある場所で輪投げしたり十分に楽しめました。

ただ、天気以上に荒れ模様だったのが私の財布で、1レース500円程度ずつ馬券を購入していたのですが、8レース中1レースしかあたらず惨敗。今年も涙を飲んで帰ることに。帰りのバスで息子は遊び疲れて熟睡でした。来年こそは掛け金分くらいは回収したいものです。

このツアー開催にご尽力くださった事務局および関係者の皆様方ありがとうございました。

福島競馬ツアーに寄せて

高雄 千鶴

副支部長の福田様のお誘いでチャイルドラインとちぎのメンバー3人と娘と私で参加させていただきました。

この日、私、92歳で初めての競馬体験!! それも来賓室での手厚いおもてなしの上という事。心躍りウキウキとバスに乗り込みました。

道中2時間、36人のお仲間のユニークな自己紹介は期待と親近感で心を揺さぶられるひと時でした。

そして愈々、福島競馬場に到着!!紅葉を点景に広々と美しい競馬場……。来賓室からの眺めに私共は、しばらく呆然と見とれておりました。

5レースから参加できたのですが、私たちは、戦い(?)のまえにまずは腹ごしらえと、お食事を楽しみ、次は、パドックで躍動的で艶やかな馬姿を品定め(?)、競馬新聞を熟読(?)し、満を持して6レースから参戦致しました。

5レースは、サブリーナとか?ヘップバーンとか?どこかで聞いた様な名前の大穴馬が勝利し、皆さんの賑やかな声が飛び交っておりました。

私も!!勇んで参戦した6レースは、敢え無く撃沈。気を取り直して、次からは各レース2枚ずつ確率の高い馬を選びましたら、7レースから10レースまで連続で当たり、ビックリしつつ気もそぞろにのめり込みました。11レースは、歳にふさわしく手が狂い、2番と3番を間違えて書き折角の当たりを逃してしまいました。いま思い出しても口惜しい次第です。



(92歳で初競馬。当たり馬券です。ついニコリですね。)

最後の12レースは、『宵越しの金は持たぬ!』と、江戸っ子気取りに賭けてみましたが微妙に500円玉一つを残し終了!!

それでも、4対3の確率で当たり、300円の元手が500円に。皆さんに褒めていただき、92歳!!すっかりお鼻が高くなりました。

生まれて初めての競馬!!生き生きとした若返りの一日となりました。お仲間に入れていただき感謝感激でございました。

もし、来年も元気でおりましたら、是非!参加させていただきたいと思っております。

福島競馬ツアーに寄せて

小野崎 智子

1986年3月薬学部卒業の小野崎と申します。2017年11月11日(土)、第4回福島競馬観戦ツアーに初めて参加させていただきました。これまでは予定が合わなかったのも、とても楽しみにしておりました。目的は、来賓室・馬券・馬の満喫です。

バスでは大きな虹を何回も見ることができ、今日はいいこと(もちろん、一攫千金)がありそうだと、皆を笑顔にしてくれました。ツアーの発起人で、紅緑会栃木県支部長の兼丸先生が、JRAの「カンタン!馬券購入ガイド」をご用意され、初心者にも分かりやすく説明していただきました。もう準備万端、バッチリです(♡)。

兼丸先生がJRA競走馬総合研究所の元所長というご縁で、競馬場ではセレブリティな一日を過ごすことができました。6F来賓室からは、競馬場全景と目の前の山の紅葉を満喫することができました。こちらでも山の手前ふもとまではっきりとした虹が何度もお目見えし、ラッキーな気分とおいしい松花堂弁当と食後のコーヒーをいただき、満足(♡♡)。

さて、馬券の方ですが、到着後の最初のレースは、「5Rメイクデビュー福島(サラブレッド系2歳、新馬)」で、私と一緒に競馬デビューです。さあどちらに賭けようかとリストを見ていると、3枠6番に「グレスレオ」の文字が飛び込んできました。私の子の名前は「レオ」。もう賭けるしかないですよ。馬券の種類は?金額は?悩むところですが、もしグレスレオが当たった時の後悔が半端ないと思い、初馬券は思い切って「単勝1000円」にしちゃいました。世の中、そううまくは回らないですよ。みごと外れです。そのあとは着実に「ワイド200円」で計1200円。今日の軍資金は3000円と決めていたので、もう負けられないです。そこで、「単勝・複勝」を同時に賭けられる馬券にし、一番人気の一桁の馬に限定しました。利率は相当低いですが、確実に+にしているという作戦です。これが功を奏して、3000円投資、-810円という結果となりました。競馬的中率が計算されていて、だいたい3割負けだそうなので、最後は

確率の通りでした(ちゃんちゃん♡)。

次は、最後の目的である馬の満喫です。賭け事はそこそこにして、間近でお馬さんに会いたい。テーブルでお知り合いになった今井ご夫妻とともに階下に降り、パドックへ。調教師に引かれた馬がグルグルと何周も回っています。鬣(たてがみ)がきれいにカットされ皆おしゃれです。お尻や足がしっかりしていると速そうです。目が真剣です。これからのレースに思いをはせているのかな。意気盛んな馬はどうか?騎手が登場し、目の前で乗馬して、いざ出陣です。騎手と一緒に気持ちをあげていくのでしょうか、スタート位置につくまでなかなかの時間です。最後の馬が入った途端レース開始。コースは内側のダート(砂)と外側の芝がありますが、運よく外側の芝のレースでした。14頭の馬の足音と振動がだんだん近づき、目の前を疾走する迫力は予想をはるかに超えていました。満足満足(♡♡)。

思いかけず得られたものがありました。思いやりです。事務局の丁寧なご対応、数々の差し入れ(ごちそうさま♡)、JRAの記念品(ありがとう♡)、などなど。最後に友人からの「ともちゃんまたね!」「次は新年会ですね」というお声がけで、本当によい一日となりました。ツアーを企画していただいた皆さん、参加された皆さん、ありがとうございました。

第44回支部長会議報告

4V 岸 善明

平成29年10月14日、第44回支部長会議がこの度白金校舎に完成した「プラチナ・タワー」で開催され、滝支部長の代理で出席しましたので概要を報告します。

出席者は本部役員12名、27支部中24支部からの27名の支部役員でした。会議の前半は主に本部からの報告事項が中心で、その他として各支部からの活動報告及び要望等がありました。本部からの報告はPTA地区懇談会について等で、その中で特に皆様にお伝えしたい資料は平成29年度の入学者数でした。総入学者数は1,794名(定員1,672名)、その内本県入学者数は43名(合格者数103名)。学部内訳では薬学部6名(合格者数14名)、獣医学部15名(39名)、医学部2名(3名)、海洋生命科学部7名(10名)、看護学部4名(5名)、理学部2名(18名)、医療衛生学部7名(14名)でした。4年後、あるいは6年後に43名のうち何名が栃木に戻るか楽しみです。

重要と思われた事は本部の30年度会議等開催予定表の説明でした。予定表を考慮し支部の総会・後援会等の開催を計画するよう依頼されました。長野支部から支部活動として土・日に白金校舎等の見学希望が有りました。本部からの回答は事前に連絡が貰えれば役員による見学者対応が可能との事でした。

会議の後半では、伊藤学長の講演「北里大学の近況報

告」でした。その一部を紹介します。

1. 学校法人の理念

「いのちを尊び、生命の真理を追究し、実学の精神をもって社会に貢献する。」

2. 北里大学理事会施策

その第1は経営改革の断行。ミッション「盤石な財務体質を確立し、より高い教育・研究・医療を支える体制を築くこと」

3. 大学基準協会による認証評価

長所：農学連携の教育研究、他2

努力課題：試験合格基準の開示（医）、他4

改善勧告：なし

4. 関東地区高校生の大学志願度（理系）

男子：第20位（1位：早稲田）女子：第1位

全体：第8位

5. 就職率

99.1%で良い。内訳は92.9（理学部）～100%（看護、医療衛生、薬学部）

6. 大学イメージ調査

総合ランキング第21位（私立で4位）

7. 世界大学ランキング2018

世界で801～1,000位グループ。国内で30位（私立で6位）

8. 18歳人口の減少（2018年問題）

2017年の18歳人口は120万人であるが2031年に99万人となる。その時、大学入学者数は10万人減少し、750校中100～150校が不要となる。北里大学は不要にならないと思はれるが、学力の低い学生の増加が問題として起こりうる。



4V 岸 善明

那須野が原は栃木県北部の那須地域、那須連山と大佐飛（おおさび）山地の麓に広がる日本でも最大級、広さ約4万ヘクタールの那須野が原台地とも呼ばれる「扇状地」です。その中央に扇状地特有、扇状地の形成に関わった水無し川である「蛇尾川」があります。多くの方が気付かず通過していると思いますが、国道4号線を北上して西那須野を通過したところで約50メートルの橋を通過します。この橋の下が蛇尾川で、川の源流域が大佐飛山地でその最高峰に栃木百名山の一つである大佐飛山（1,908メートル）があります。

今年3月（那須山で発生した雪崩事故の約10日前）に斎藤晃会員（V9）とこの大佐飛山登頂を試みましたが、途中の黒滝山（1,754メートル）からは雪が多く登

頂を断念しました。登山情報を再度調べ、4月に登頂を試み、残雪と雪渓をアイゼンで踏破し、大佐飛山の登頂に成功しました。登頂に要した時間は約12時間、その内8時間は残雪と雪渓の上でした。

大佐飛山の登山口は板室から林道を数キロ入ったところにあります。そこから百村山（1,085メートル）に登り、猿山（1,467メートル）、山藤山（1,588メートル）、黒滝山へと進みます。ここまでは登山道がありますがここから大佐飛山の間、約5キロメートルには登山道はありません。そのため、春の残雪期だけに雪渓を利用して登ることが出来ます。登山に最適な時期は例年4月中旬とされていることと3月下旬の大雪を考慮して4月23日を登頂日としました。黒滝山から大佐飛山へのルートはその殆どが稜線に続く雪渓の上（写真）で、そこ



（大佐飛山まで続く雪渓の道）

はまさに天空の回廊でした。回廊の上からは那須連山（写真）、日光連山、尾瀬の山々そして那須野が原を一望できました。我々はこの最高の眺望コースを約5時間も堪能することが出来ました。大佐飛山は栃木の名峰



（那須連山）

ですが愛好家向けの山なので多くの方に登山を勧められませんが、那須方面にお出掛け那須連山を見る時には隣にそびえる大佐飛山も是非ご覧下さい。

編集後記：11月に白金に行く機会があり、完成したばかりの研究所・大学共用のプラチナ・タワー、北里柴三郎記念館を見学した。プラチナ・タワーからは東京タワーや東京スカイツリーが見えます。又、北里柴三郎記念館は皆さんに是非一度行ってみたい所です。（滝 龍雄）